

ゴールデンウィーク明けの5月7日（火）雨交じりの強い風が吹く生憎の天候の下、第114回「ほほえみ交流カフェ」が開催されました。

シニア : 17名（内1名はお楽しみコーナー講師）  
講師 : 1名（都筑区社協）  
都筑区社協 : 1名  
葛が谷ケアプラザ : 1名  
葛が谷薬局 : 1名  
スタッフ : 10名  
計 : 30名

冒頭、異動となった葛が谷ケアプラザの川田将之新所長からご挨拶をいただきました。また、カフェのスタッフにもフレッシュな仲間が加わったことを皆さんにお知らせしました。



さて、本日の講演は「社会福祉協議会について」と題して、都筑区社会福祉協議会で当地域を担当されている鮎澤理子さんからの話を伺います。「社会福祉協議会」略して**社協**、その理念は：「誰もがあんしんして自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作りだす」

公共性のある団体ですが、あくまでも**民間組織**。理念にあるとおり自主的に「みんなで作りだす」ことを目指しています。地域の抱える福祉課題について、地域住民が主体となり取り組めるように、事業の企画や実施、ボランティア活動を推進しています。

幅広い多くの事業を展開する中で、今回は3つにスポットライトを当て、配布いただいたパンフレットに沿って説明いただきました。

1. あんしんセンター：公共料金、生活費などの支払い代行、介護保険など福祉サービスの案内と手続き援助など
2. 善意銀行：皆さんからの善意（金品）を預かり、必要とする方へ配分
3. ボランティアセンター：支援が必要な人と支援活動をした人をつなぐ



何となく判ったようなつもりで今まででしたが、改めて判り易い説明をいただき頭の中が整理された気分です。鮎澤さん有難うございました。これからもお世話になります。また、善意銀行事業で預かった茶菓子を参加者に振舞っていただき有難うございました。



誕生日コーナーでは3名の方に Happy birth day!!  
1名のシニアと2名のスタッフ。カフェ代表もその一人  
でした。古希だそうです。

そしてお楽しみコーナーはスタッフとその御母堂、佐藤母娘による「三味線と一緒に元気に唄いましょう」まずは前回練習した「ダンチョネ節」のおさらいで喉慣らしの後、  
「茶っ切り節」（静岡県）  
「祖谷の粉ひき唄」（徳島県）  
「稗搗節」（宮崎県）をみんなで元気よく唄いました。  
お二人は9月7日に予定される「荏田南文化祭」でも三味線を披露いただきます。楽しみですね。



続いて、参加シニアリーダー、美代子さんのお喋りコーナーです。  
話題は3つ。

・先日、都筑ふれあいの丘駅前で国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の街頭寄付活動に行き会った。ご承知のかたも多いかと思いますが、日本が誇る故緒方貞子さんが代表を務められていた世界の難民支援組織です。美代子さんは以前から毎月定期寄付登録をされているそうです。街頭に立っていた若いスタッフと言葉を交わしたところ「赤十字などと違い、名前が一般に浸透していないため、要らぬ誤解をされたり、苦勞が多い」とのこと。実は筆者も同じ場所でスタッフと話をしていました。「国境なき医師団」や「国連フードプラン」などには随時寄付しているのですが、UNHCRには恥ずかしながら寄付したことはありませんでした。許す範囲で力になりたいものです。それにしてもどうして日本はこんなにも難民に冷たいのでしょうか。

・先日 OK で偶々出会った初対面の 70 代女性と立ち話。その方はお子さん夫婦と同居されているようですが、「家に帰りたくない」と仰ったと。自分の感情を子供たちに素直に吐露できないのでしょうか。血のつながりが寧ろ重しになる。なんとなく判ります。

この「交流カフェ」のような地域の緩い集いの場が少しでも受け皿になればと思います。



・2月のカフェで「最後まで寝たきりにならないために」をテーマに講演いただいた奥野修司氏から「文芸春秋」が郵送されてきた。テーマは「認知症介護の6つのヒント」だそうです。

そして体操のお姉さん、歌川さんのコーナーです。椅子に座ったままで、足首回し、膝伸ばし。少し太腿の筋肉がきついです。両足揚げ立ちあがって、ふくらはぎのストレッチ、上体前屈、上半身ねじり、背筋伸ばしなどでリフレッシュ。



最後は「ふれあい丘の街」を元気に合唱してお開き。次回は6月4日(火)ふれあいの丘整骨院の小林先生の講演が予定されています。お楽しみに。